



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 パ ス ポ ー ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 水 野 純
(コード番号 7577)
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長
兼 総 合 企 画 部 長 久 保 田 勝 美
TEL (03) 3494-4497

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 11 日に公表いたしました通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

●業績予想の修正について

(1)平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 り 当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	11,100 百万円	△310 百万円	△380 百万円	△640 百万円	△50.41 円
今 回 修 正 (B)	10,215 百万円	△552 百万円	△622 百万円	△849 百万円	△66.89 円
増 減 額 (B - A)	△885 百万円	△242 百万円	△242 百万円	△209 百万円	—
増 減 率 (%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 2 月期)	10,934 百万円	91 百万円	59 百万円	△142 百万円	△28.22 円

(2)修正理由

売上高につきましては、リブランディングの方針で新しいブランドイメージの構築に向け、キャラクター商品を中心に滞留在庫処分に継続して取組み、同時に店舗仕入の統制強化を推進した結果、店舗と商品センターの在庫金額が繁忙期の 12 月末時点で前年比 65% 台まで減少し、1 月・2 月の売上高が直営既存店前年比で 80% 台を割込むところまで減少いたしました。これは新年度からの、新商品投入に合わせた品揃え再編のための布石ですが、繁忙期の補充商品の仕入にも影響が及び、売上高の回復が遅れることとなりました。

利益面につきましても、1 月・2 月と上記のような施策で取り組んだ結果、先に記載したとおり売れ筋商品の補充にも影響が出て、販売の機会損失が発生したため、予想以上に売上高が減少すると共に、売上総利益の減少を招いてしまいました。更に、年間最大商戦の 12 月が暖冬による影響も重なって、既存店売上前年比が 83.1% と落ち込み、予想利益を大きく下回る一因となりました。

一方、販売管理費につきましては、売上高の減少に伴い、売上歩合の店舗家賃が減少し、人件費や荷造運送費などのコスト削減に取り組んだ結果、当初計画に対して大幅なコスト削減を実現しておりますが、売上高と売上総利益の減少幅が大きく、当期純利益は前回予想を下回り、赤字幅が拡大する結果となりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、当社を取り巻くさまざまな要因により、記述されている業績見通しとは異なる可能性があります。